



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

Stock code 2270

個人投資家様向け 会社説明会



取締役専務執行役員 世古 康

2013年11月



1

本日のご説明内容



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成21年度～平成26年度）

4. 当期業績の状況

5. 株主・投資家のみなさまへ

2



1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成21年度～平成26年度）

4. 当期業績の状況

5. 株主・投資家のみなさまへ

3

会社概要



1	商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
2	設立年月日	平成21年10月1日
3	本店所在地	(本社)東京都新宿区本塩町13番地 (登記上本店)北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
4	資本金	200億円
5	代表取締役	代表取締役社長 中野 吉晴
6	上場取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
7	従業員数	5,032名(連結、平成25年9月30日)

4

沿革① 創立と商品の歴史

- 大正14年 (1925年) 「北海道製酪販売組合」創立 バター製造を開始
- 昭和25年 (1950年) 雪印乳業(株)発足
- 昭和29年 (1954年) 「雪印6Pチーズ」発売開始
- 昭和37年 (1962年) 「雪印スライスチーズ」発売開始
- 昭和43年 (1968年) 「雪印ネオマーガリンソフト」発売開始
- 昭和54年 (1979年) 「雪印ナチュレ(プレーンヨーグルト)」発売開始
- 昭和55年 (1980年) 「雪印ストリングチーズ(現さけるチーズ)」発売開始
- 平成5年 (1993年) 「雪印毎日骨太(乳飲料)」発売開始
- 平成19年 (2007年) 「雪印北海道100ブランド」立ち上げ



北海道と育てたチーズ。

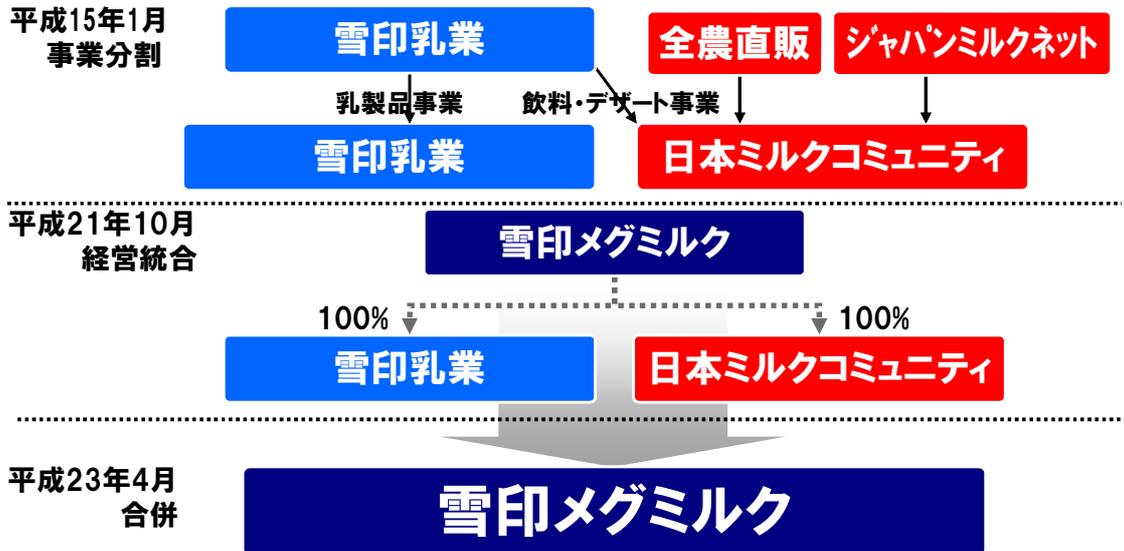
雪印北海道100

北海道産生乳100%使用

日本の乳製品のパイオニアであり、数々のロングセラー商品を生み出し
今でもご愛顧いただいております。

沿革② 2つの事件

- 平成12年6月 雪印乳業食中毒事件
- 平成14年1月 雪印食品牛肉偽装事件
- 平成15年1月 事業分割



平成23年(2011年)4月に、雪印乳業と日本ミルクコミュニティが
合併して、雪印メグミルクが誕生しました。

私たちの使命

消費者重視経営の
実践

酪農生産への貢献

「乳(ミルク)」にこだわる

コーポレートスローガン

未来は、ミルクの中にある。

企業理念は、3つの「私たちの使命」と「コーポレート・スローガン」で構成されています。

7

本日のご説明内容

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成21年度～平成26年度）

4. 当期業績の状況

5. 株主・投資家のみなさまへ

8

雪印メグミルクグループの事業領域

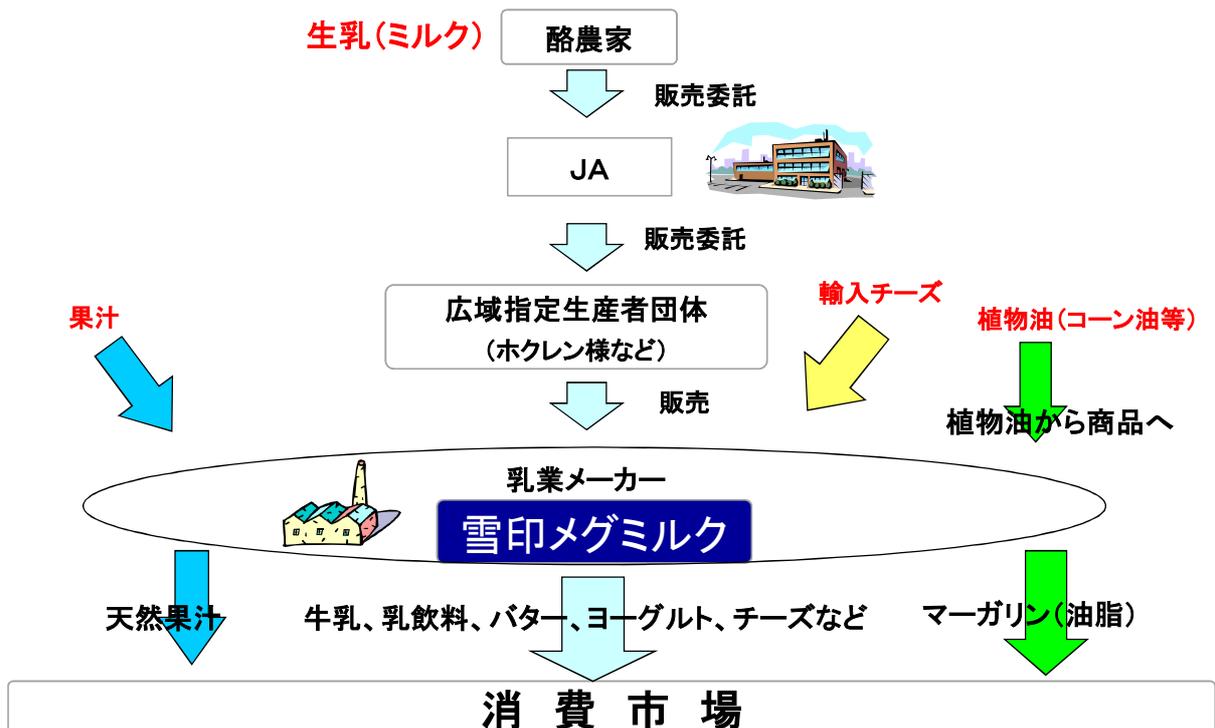


グループ各社の事業領域



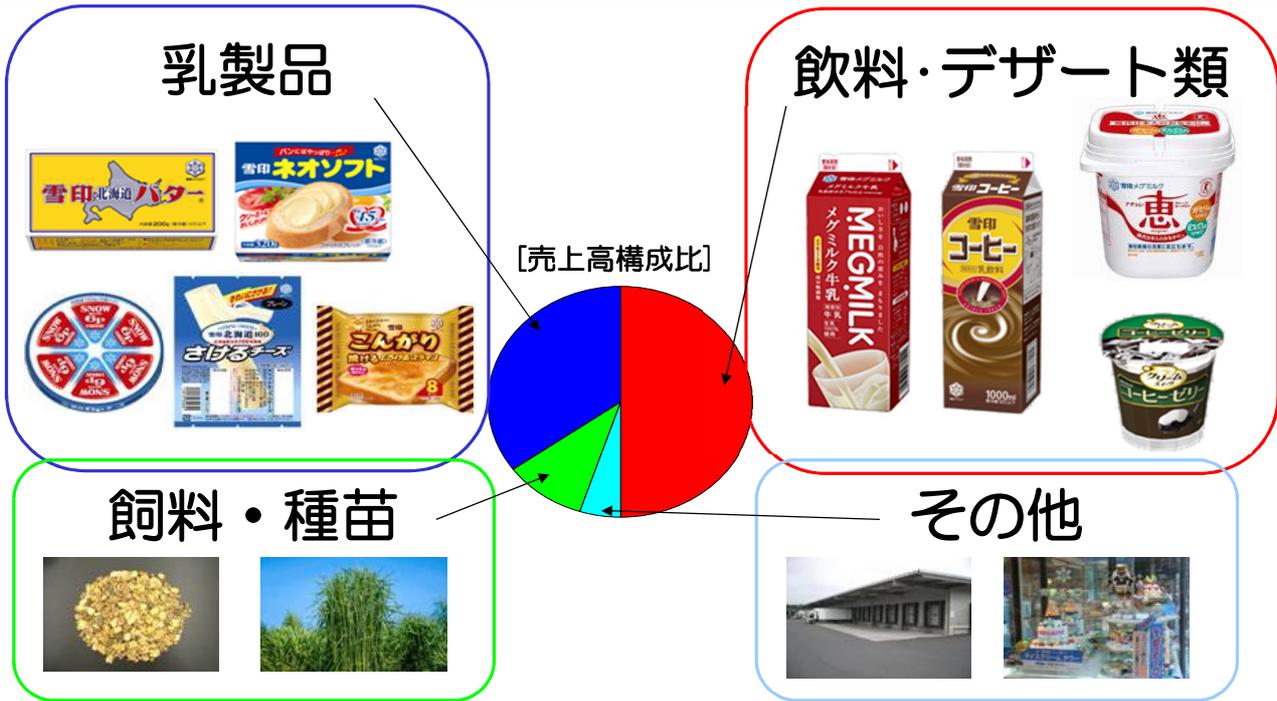
乳に関連した事業を幅広く展開しています。

事業のしくみ(概要)



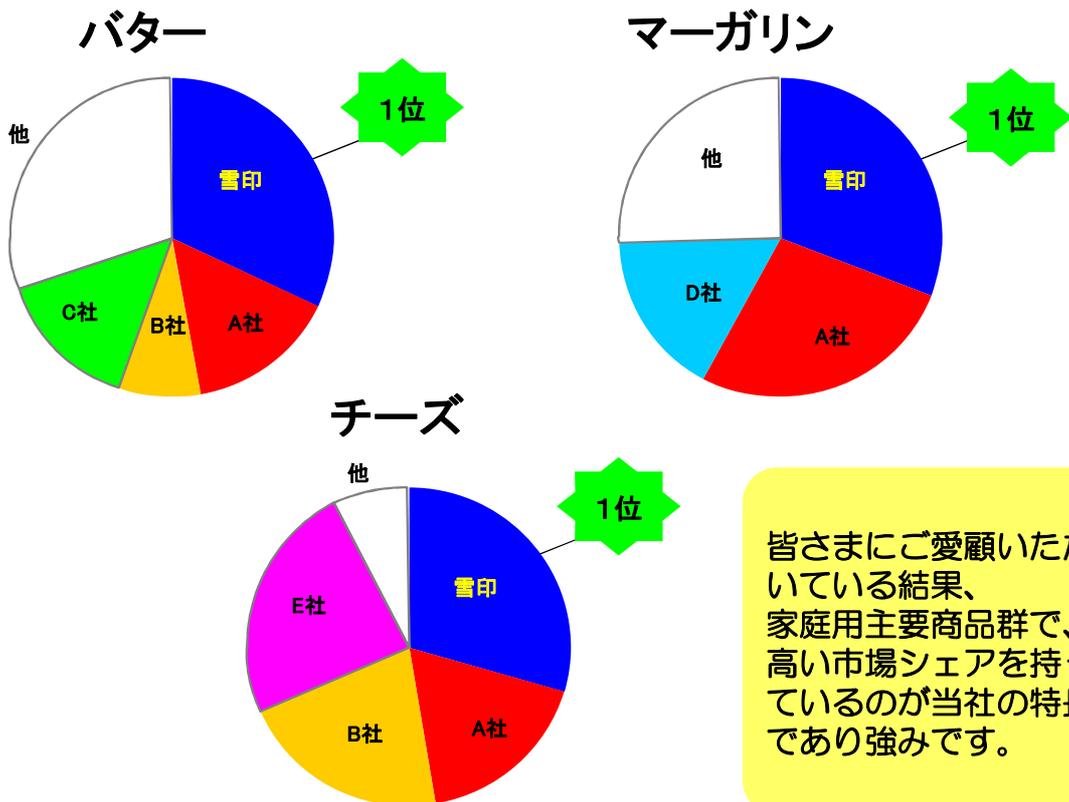
生乳を原料とする事業が核となっています。

4つのセグメント



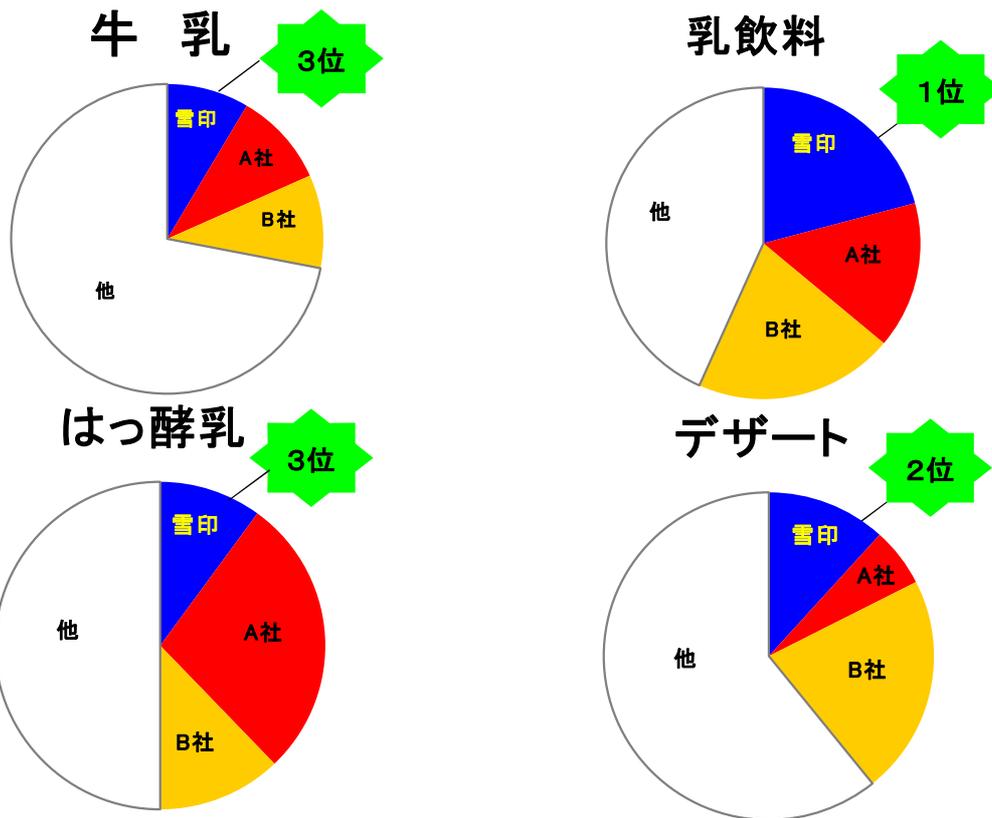
「乳製品」「飲料・デザート類」セグメントで約85%を占めます。

家庭用主要商品群シェア①



皆さまにご愛顧いただいている結果、家庭用主要商品群で、高い市場シェアを持っているのが当社の特長であり強みです。

家庭用主要商品群シェア②



13

業界をリードする研究・技術開発力

「乳」に関する研究開発を

「おいしさ」と「乳の機能性」

の両面で実施しています！

さけるチーズ製法



切れてるバター製法



多層チーズ製法



ガセリ菌SP株



鉄ラクトフェリン



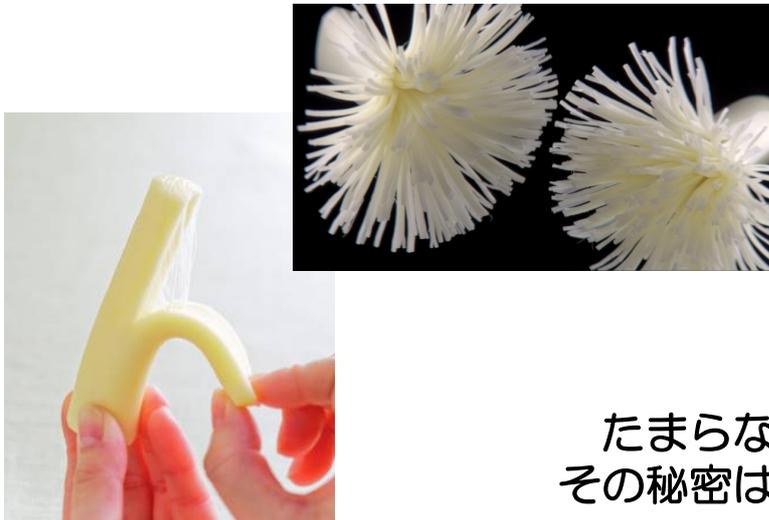
MBP®



14

研究・開発事例①：さけるチーズ

「さけるチーズ」が、きれいに気持ちよく
“さける”のは、チーズ中のたんぱく質が
完全には分解されずに、ほどよく残った
状態にして、それを伸ばして冷やすから
なのです！



たまらなくクセになる食感！
その秘密は、繊維状の組織です。

15

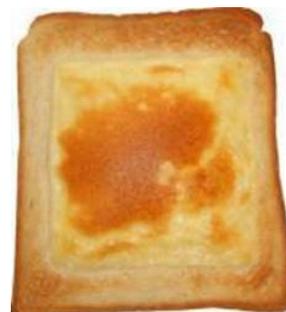
研究・開発事例②：こんがり焼けるとろけるスライス

日本食糧新聞社制定
「第26回新技術・食品開発賞」
食品産業新聞社主催
「第42回食品産業技術功労賞」の
技術・アイデア部門を受賞



3感を刺激

味覚だけじゃない！視覚、嗅覚からも、おいしさを実感



こんがり焼けて
おいしそう 

焼けたチーズ
が香ばしい 

16

研究・開発事例③：重ねドルチェ 他

3層充填製法



切れてるバター製法



多層チーズ製法



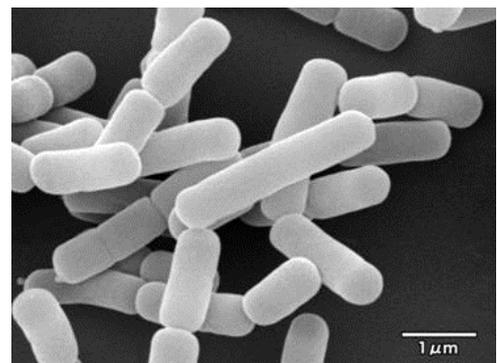
日本食糧新聞社制定
「第25回新技術・食品開発賞」
食品産業新聞社主催
「第41回食品産業技術功労賞」の
技術・アイデア部門を受賞

17

研究・開発事例④：ガセリ菌SP株

【過去1年間の主な学会発表】

- 2012.09.28 内臓脂肪蓄積抑制作用について
- 2012.10.16 歯周病に対する抗炎症作用について
- 2012.10.18 免疫系の活性化とストレス軽減効果について
- 2012.12.04 インフルエンザウィルスに対する感染予防効果について
- 2013.03.25 高脂血症を伴う過体重の日本人の食後脂質代謝改善効果について
- 2013.06.05 線虫の寿命延長とその作用機構について
- 2013.06.13 肺および腸管の免疫機能強化の可能性について

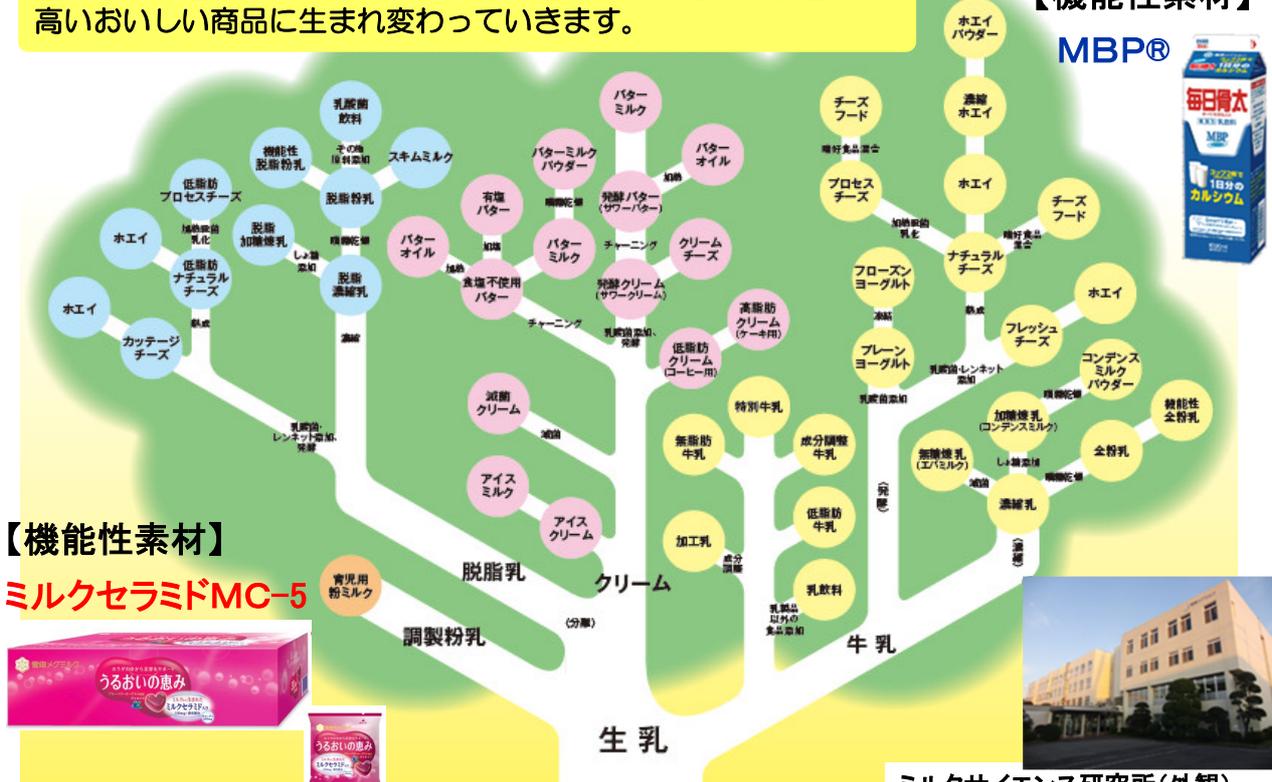


引き続き、乳製品を通じて、人々の食と健康を支える研究に取り組みます。

18

生乳は栄養価が豊富でそれぞれの機能性を活かした、付加価値の高いおいしい商品に生まれ変わっていきます。

【機能性素材】



【機能性素材】

ミルクセラミドMC-5

ミルクサイエンス研究所(外観)

本日のご説明内容

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成21年度～平成26年度）

4. 当期業績の状況

5. 株主・投資家のみなさまへ

H21年度

H22年度

H23年度

H24年度

H25年度

H26年度

Step3

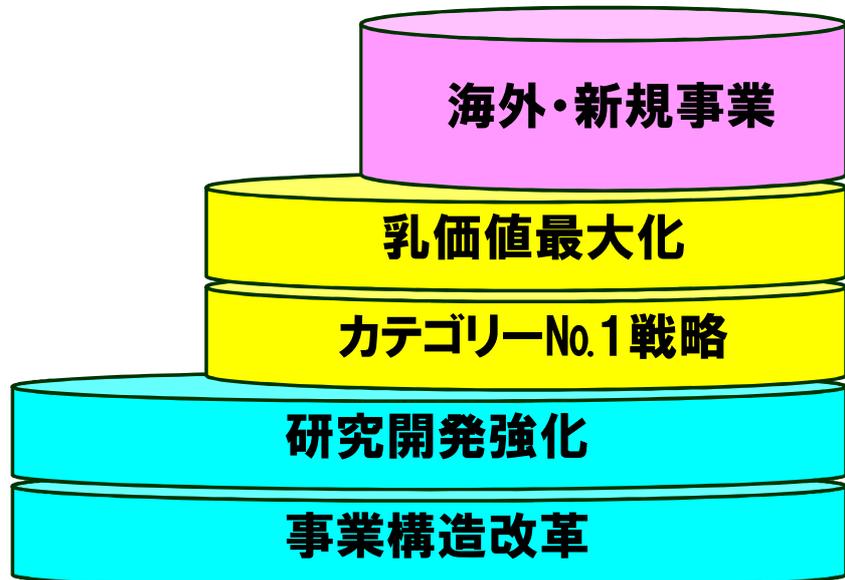
新規事業領域
への展開

Step2

経営資源の
活用拡大

Step1

事業基盤の
強化



平成26年度（2014年度）連結営業利益200億円以上を目指します。

21

中期経営計画 取組みの進捗状況

1. カテゴリーNo.1戦略の推進

2. 戦略設備投資に基づく事業展開

3. 他社との連携の取組み

4. 海外事業の展開

22

「カテゴリーNo.1戦略」の推進①



- 「毎日骨太」「雪印コーヒー」の強化
- チルドカップ飲料の強化



- ガゼリ菌SP株、ビフィズス菌SP株配合商品「恵 megumi」シリーズの強化

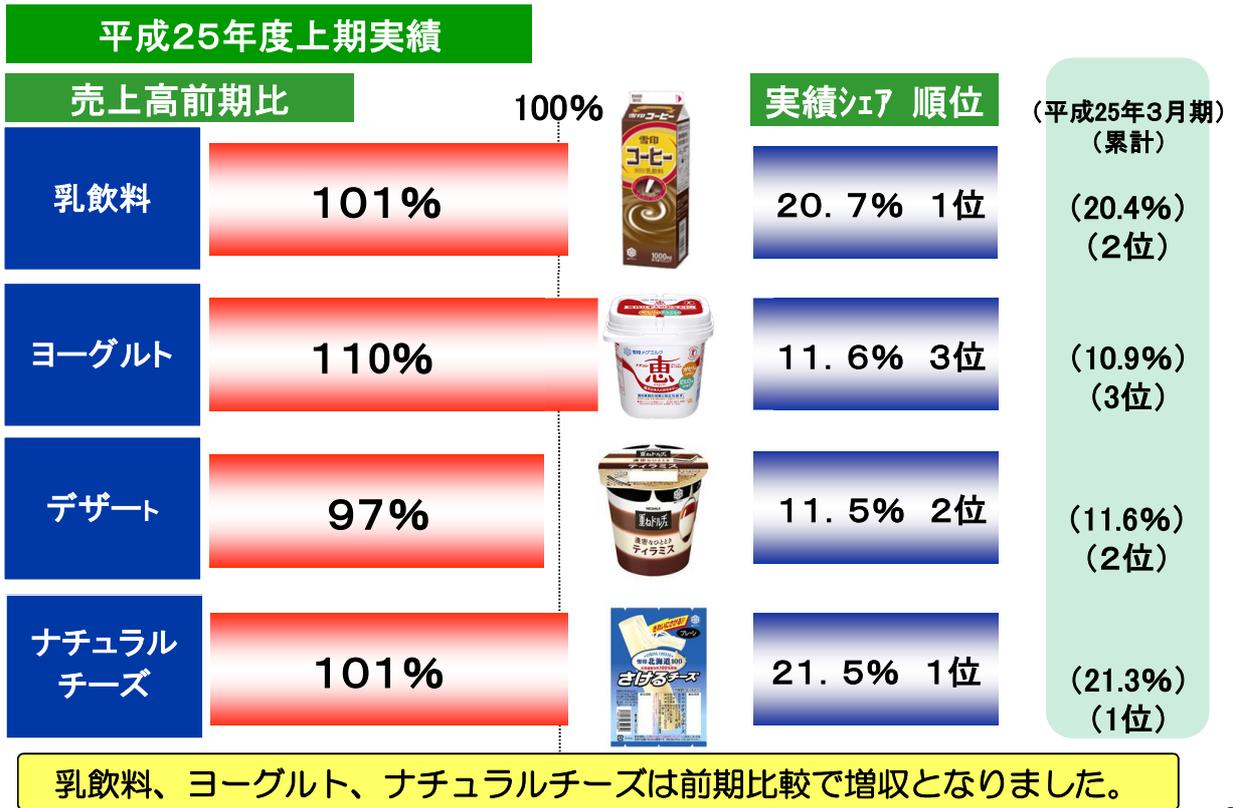
「カテゴリーNo.1戦略」の推進②



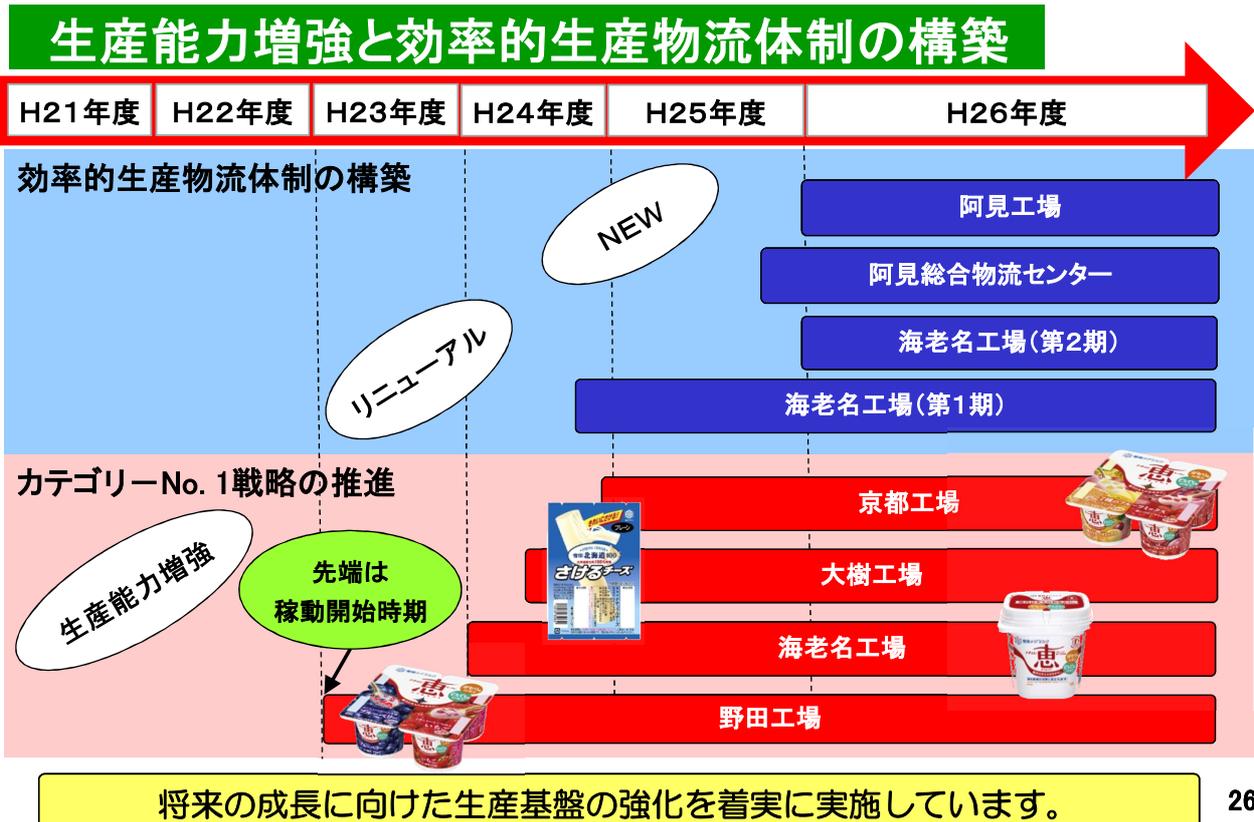
- 「重ねドルチェ」を始めとしたバラエティ豊かな商品の強化



- さけるチーズを始めとする「雪印北海道100」ブランド商品の強化



戦略設備投資に基づく事業展開①



効率的生産物流体制への円滑な移行

海老名工場

平成26年4月に本格稼働予定

チルド飲料の生産集約



来年4月の本格稼働に向けて、順調に工事が進んでいます。

阿見総合物流センター

平成25年12月に稼働開始予定

阿見工場

平成26年度下期に本格稼働予定

プロセスチーズ・マーガリンの生産集約



阿見工場の生産開始に先行し、阿見総合物流センターが稼働します。

よつ葉乳業グループとの共同取組

生産

物流

資材調達

協同乳業グループとの資本・業務提携

生産

物流

資材調達

営業

普通株式発行済株式総数の20.15%にあたる約200万株を取得。

自社だけでは困難な拡大や効率化を共同で実現

29

海外事業の展開

インドネシアでのプロセスチーズ事業展開

PT. MEGMILK SNOW BRAND INDONESIA
(平成24年5月設立)



出資比率

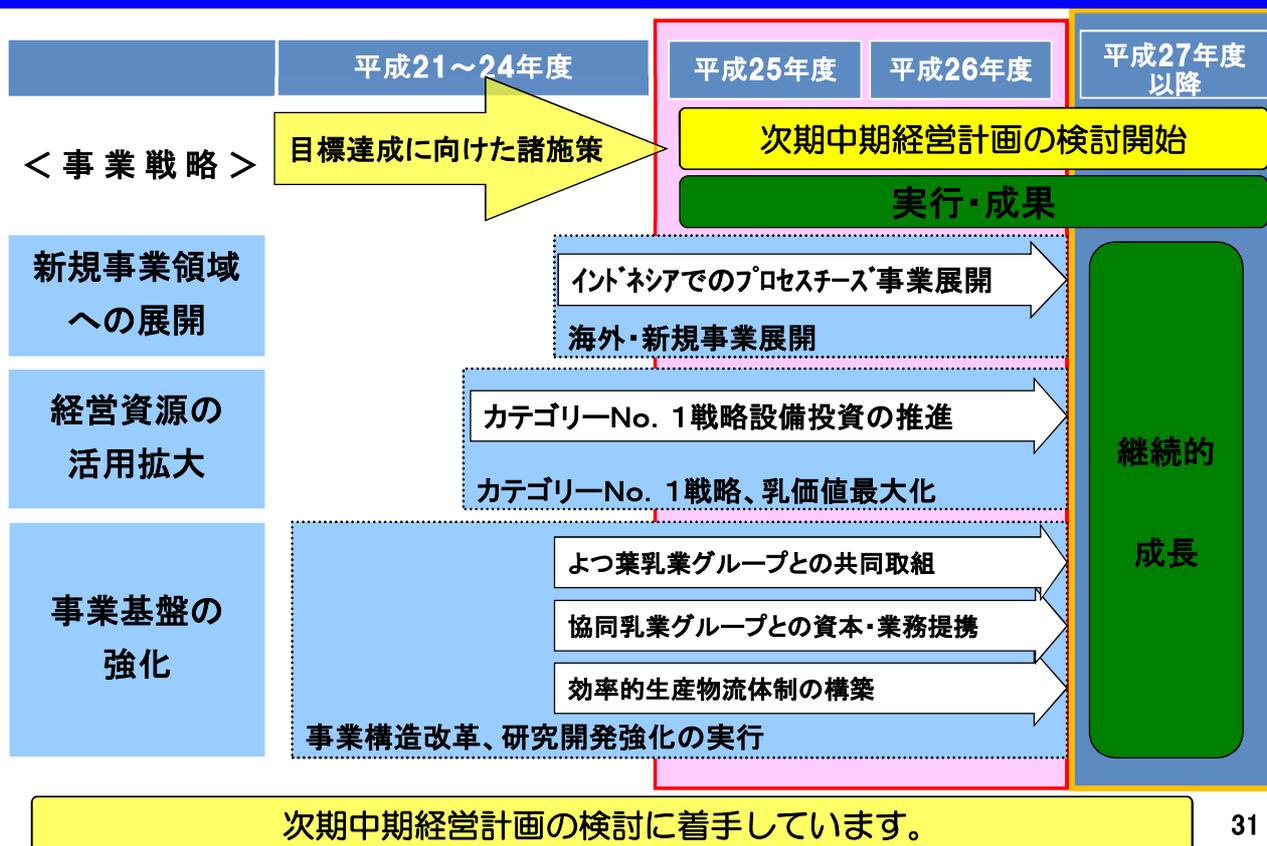
雪印メグミルク	51%
ロダマス社	40%
伊藤忠商事	9%

常温プロセスチーズの生産・販売開始



このほか、様々な事業機会の探索もすすめていきます。

30



本日のご説明内容

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成21年度～平成26年度）

4. 当期業績の状況

5. 株主・投資家のみなさまへ



1. 経営成績

(億円、%)

	平成25年 3月期	平成26年 3月期	増減額	前期比	業績予想	予想比
売上高	2,663	2,756	+92	103.5	2,750	100.2
営業利益	85	68	△17	80.0	90	75.7
経常利益	92	69	△22	75.4	90	77.5
当期純利益	57	39	△18	68.5	55	72.0

2. セグメント別

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	961	103.8	1,375	100.9	255	108.2	164	118.4
営業利益	48	94.6	2	18.0	9	76.0	8	98.0

前期比較、業績予想比較で増収減益となりました。

上期連結営業利益の増減要因



連結営業利益 △17億円 (前期比較)

【減益要因】	影響額	備考
資材単価差等	△33	うち飼料・種苗セグメント△27
宣伝促進費の増加	△13	
減価償却費の増加	△4	
乳価差+その他	△3	

【増益要因】	影響額	
販売単価差	+34	うち飼料・種苗セグメント+30
販売物量増加による利益増加	+2	

上期減益の主要因は、宣伝促進費増加の効果が限定的に留まったため。

原料乳価格の値上げ

原材料価格の高騰

円安の影響

市場競争の激化

下期は、コストアップが予想されます。

35

価格改定および容量変更

プロダクトミックスの改善

カテゴリーNo.1戦略の推進

宣伝促進費の効率的活用

コストアップ要因に対して、吸収策に取り組んでいきます。

36

1. 経営成績 (平成25年11月7日に業績予想を修正しました)

(億円、%)

	修正前	前期比	修正後	前期比	増減額
売上高	5,400	103.3	5,400	103.3	—
営業利益	170	113.3	125	83.3	△45
経常利益	165	100.7	125	76.3	△40
当期純利益	95	99.0	70	72.9	△25

※増減額は、当初業績予想との差額

2. 配当

普通配当 30円 (変わらず)

連結配当性向 29.1%

平成25年度(平成26年3月期)は、
連結営業利益125億円、配当は普通配当30円を予定しています。

37

本日のご説明内容

1. 会社概要・沿革

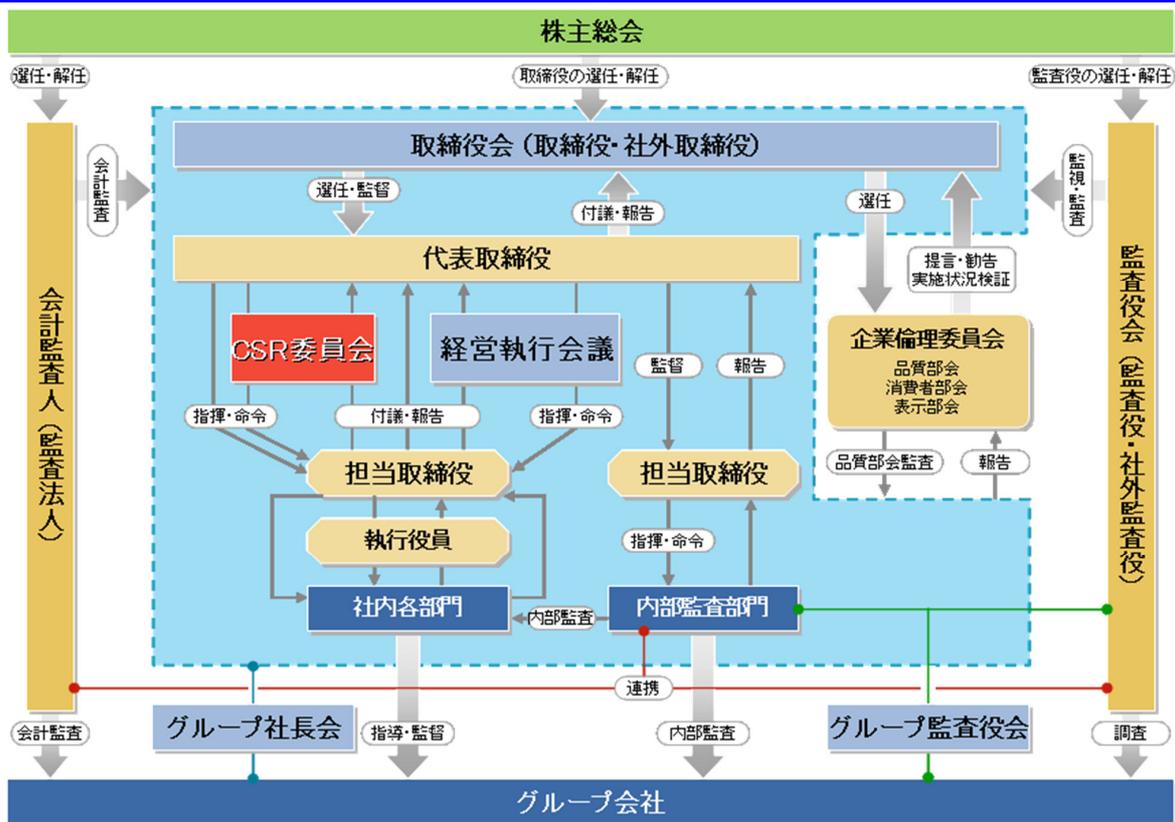
2. 事業内容

3. 中期経営計画 (平成21年度～平成26年度)

4. 当期業績の状況

5. 株主・投資家のみなさまへ

38



企業倫理委員会



3つの専門部会

品質部会

消費者部会

表示部会

経営における透明性の確保と、社外からの監視機能の強化、環境の変化に即応できる経営体制の確立を柱に企業価値を向上させていくことを基本方針としています。

酪農と乳の歴史館(札幌市東区苗穂町)

- 日本の酪農、乳業の発展の歴史をお伝えします。
- 平成16年に北海道遺産に、館内の史料は平成21年に国の近代化産業遺産に登録されています。
- 毎年約2万人の見学者をお迎えしています。



～ 見学のご案内 ～
☆予約制 011-704-2329
(電話受付 9:00～17:00)
土・日・祝祭日はお休みです。

スキージャンプ部の活動を通じたスポーツ振興

原田雅彦コーチ



雪印メグミルクスキー部



目標は、ソチ五輪の表彰台！

特殊ミルクの製造と供給

2013年2月に新医薬品工場を設立し、供給体制を整備。



43

株主のみなさまに

株主還元の基本方針

連結配当性向20%以上を目指します。

情報開示の基本方針

お客様・消費者、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの信頼が得られるように、正確な企業情報を適時に開示し、透明性のある経営を実践いたします。

44

本日はありがとうございました！



本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合があります。また、業績予想に関する数値等は、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご承知おきください。